

# 同窓会報

NO. 35  
1989. 1

発行——山形県米沢市門東町1丁目1番72号 九里学園同窓会事務局 TEL 0238-22-0091



記念音楽会「東京混声合唱団」 63.9.13

修学旅行はどの時代にも、見知らぬ世界への夢をかきたて、冒險心をそそる一大イベントである。同窓生の三原もとさんの旅行記には、昭和七年に東京へ旅行した時の驚きと感動を実に生き生きと書いておられる。水洗トイレや電気の看板に驚き、にわか仕立ての東京弁でタクシー代を値切り、ハイカラな食堂での田舎つぶまるだしの情景などをユーモラスなタッチで表現しておられる。

今年度はじめて、修学旅行を五コース設定して生徒の希望をとり、クラスを越えて同じ目的を持つ人の集団で実施した。「暮しの経済を考える」では兜町や横浜元町、「芸術文化を学ぶ」では音楽会や美術館見学、「国際理解を深める」では外国大使館を訪問し、「日本文化の源流を訪ねる」では伝統的な本校の旅行地京都、奈良を訪問し、「世界の平和を考える」は広島の原爆被災地を訪れた。四月から授業として学習を継続しているので、訪問地での関心も高く、研修としての意味合いの強いものであった。

ホテルはこじんまりとしたツインの部屋、食事は、制服をきちんと着用し、洋風料理をバイキング方式でとるという現代風なものである。古寺巡礼に始まり、布団を敷き並べ、仲良し友達が枕を並べて語り明す楽しみは修学旅行の古典となってしまった。

今田 良子

学園近況



## 記念 音楽会

心に響いた

### 「追分節考」

S 63年卒 情野久美子

今回の音楽会は「東京混声合唱団」でした。九月も半ば、少々秋風を感じながらの音楽鑑賞は他のどの季節と較べてもおとらぬすばらしい時期だったと思います。

私がそんな風に感じたのは合唱団の方々の歌声に詩情を感じたからです。歌われた曲の中に「この道」や「浜辺の歌」がありましたが、まったく楽器を使つていなくて声と声が互いに調和しながら帶のように厚みのある声になつていました。そつと目をつむつて聞くとその風景さえ浮んでくるようでした。これが耳で聞きながら耳で見るのは私にとって非常に思い出深い曲で、高校時代歌声の祭典

でとり組んだ歌でした。聞きながら、一生懸命練習したことや、どうしてもクラス全員の心が一つにならず、イヤ気がさしたことなど一口では言えないぐらいの思い出となつかしさがよみがえってきました。「大地讃頌」や「ハレルヤコーラス」といったような曲もログラムには入っていたので、それぞれ合唱祭での思い出をよみがえらせた人も少なくないと思います。

今、心に一番残っているのははじめて聴いた「追分節考」という曲です。これはただただ大きいという感じでした。うまく書き表わすことが出来ないのですが女性のひびきという音をバックに男性の勇ましいかけ声が会場内の左右から流れるのです。その間指揮者は女性の声の高さを指示するだけでもつた指揮棒をふりませんでした。外国での公演で大変好評だったということもうなづけました。日本の心（民謡）がステレオの響きで聴く人に思い出深い曲で、高校時代歌声の祭典

音楽会の間、私は胸に宿していた憂いを忘れました。合唱団の方々に感謝していました。そしてこれからもずっと九里

校長先生、本当におめでとうございま

す。

校長先生、本当にありがとうございました。

（四十二年卒 大久保記）

九里校長先生に  
藍綬褒章

11/30 祝賀会で



学園が大きく変わった中で高校生活を経験したことを私は幸福に思います。「いい学校になるぞ」みんなそう思いました。ドブ浚いをされる校長先生、廊下のゴミ拾われる校長先生としていつも私達の視野の中に先生はおられました。尊敬する人の欄にクラスメートの大半が九里茂三先生と書いたものです。

先日久々に遠方から声のたよりがありました。「藍綬褒章がどういう章か良く知らないけれど、いまでも校長先生を尊敬していますよ」と友は言つて電話を切りました。

# 総会

---



S 63.7.10

総会では母校が今年八十八年を迎えるにあたり、「米寿の集い」を実施することが決まりました。ひきつづき、丸子トクコ先生の講演があり、「いきいき健康づくり」と題して日當の家族の姿をとおして自分の体とどうつきしていくか、笑いを交えながらわかりやすい話をしていただきました。

その後、なつかしく楽しく賑かな懇親会となりました。昭和六年卒の同窓生の現代舞踊が披露され、鮮かな動きに魅了されました。また、さっそくに会場では米寿の集いへ向けて自主的な募金があり、同窓生の大きな意欲を感じました。

今年度の「同窓生の集い」は去る七月十日、  
ユーランド北陽において一八〇名の参加

「米寿の集い」の  
成功を期し、準備会スタート

S36年卒 館野福子

うきつかけがあつたからと思ひます。  
同窓会全体を考えるとき、なんといつても連絡員が要だと思ひます。この毎年の集いを基にして委員の掘り越し、見直し、修正をはかりたいものです。

そして米寿の記念すべき年こそ同窓生の絆を堅くし、心に残るすばらしい集いにしたいのです。

生が六・七がつく私達が担当しました。毎年の総会に参加するたび意識してきたので準備は的確に進めることができたと思います。私達は卒業してから大分たちますのでクラスの連絡網をしっかりと作り、盛大な学年会をやりたいと考えておりました。そんな時期に当番学年が当つてきたので出来るかぎり沢山の参加を呼びかけました。それが功を奏して二名ずつの連絡員もお願いすることが出来、今年への大きな足がかりになりました。米寿の集いの後、小の川で大学年会をすべく今着々

S 24年卒  
行方縢代御夫妻

イヌ嫌い

行方寅次郎

妻はイヌが嫌いである。  
私はそれほどではないが、  
妻のイヌ嫌いは極端である。

人間が好きとなれば、客に対する心配りには感心させられる。お茶は濃く。お菓子は、おいしいと言つてしまひに勧める。私の最も得意とするところである。そういうとき、妻の顔は、晴々として陽気である。特に、小さい子には、目がない。向いの家の孫が時折遊びに来る。妻は、にこにこと遊び相手になつてゐる。妻のおかげで、私もいさか、人間とのつきあいが、以前よりましになつてゐる。

## 自立するための 福祉へ

ヨーロッパ

福祉研修から

S 22年卒 佐藤せつ



この度、県からヨーロッパ福祉事情視察研修団の指名を受け、去る十一月十六日から十日間福祉先進国であるイギリス・フランス・西ドイツ・イタリアの四ヶ国を訪問研修する機会に恵みました。この研修を通して学んだことを書いてみたいと思います。

ヨーロッパで訪ねた保育所は、私の予想に反し、町並の続く道路端にあり、普通の民家と変わらぬ質素な建物で驚きました。ここでは、ハンディのある児童が常児が一緒の保育で、基本的生활習慣を身につけるための努力がなされていました。ここでの保育時間は園が設定するのではなく親が生活に合せて決めていくシステムになっていて通常二十名はいつもいるとのことでした。保育料は親の収入によって親が決め、経営者は親と一緒にになってすべての保育方針を計画し、一方的な指導は全くなく、環境の整備やビデオ、コンピューターの購入にいたるまで、すべて親たちの参加でなされました。

七月十日二年に一回、五度目のクラス会を福島の穴原で行いました。一八名の出席でした。なつかしさのあまり、絶え間なく話が続き、寝る間も惜しい一夜でした。

話題の中心はいつも戦争中に学生生活を送つて辛く苦しい思いをしたことで

ているのが強く心にのこりました。また、老人ホームを訪問したのですが、こも民間と同じ建物で、これが福祉施設とはとても思われない自然な一軒の家という感じでした。老人の希望により、個室にするか三人の部屋にするか決められ、プライバシーは大切に守られ一人一人生き生きと輝いて生活していました。買い物も、家族の出入もすこぶる自由に出来るとのことです。

「ゆりかごから墓場まで」のいたれりつきの「与える福祉」から「自立するための福祉」に変わりつあることを肌で学んできました。四ヶ国それぞれ若干のちがいがありますがヨーロッパの福祉政策は長年の伝統の上に築き上げられたものと深い感銘を受けました。

最後に言葉は通じなくとも人は心と心で通じ合うと思いました。私にとってこの研修はすばらしい経験の旅でした。



S 20年卒 本科に組

クラス会

S 28年卒 商業科



◎毎日勤労奉仕で授業は一週間一時間だけだったこと。  
◎ストーブ用の生木の薪が煙ってなくことが出来ず、寒さにふるえて過したこと。  
◎卒業式は二時間に限られすぐ工場に戻らなければならなかつたこと、等です。  
(学園の米寿の祝のためにみなさんからカンパをいただきました、役に立てていただけが幸せいです)。

(関 なみ 記)

クラス会は予定通り行われましたが三十五年振りに会う友もいて、名前も思い出せずにお互いに名のりをあげて確認し大笑いを致しました。今年こそは学校の米寿のつどに合せてお元気になられた山崎先生を囲み盛大に行うことを誓い白髪の混じった昔の乙女達は再会を約し、家路につきました。

(野田 博子 記)

# 職場訪問



川井小路で美容院を経営、花嫁着付の指導者として大活躍されている鹿股安子（旧姓佐藤）先生をお訪ねしました。先生は九里学園を昭和二十四年に卒業され子供の頃からの夢であった花嫁作り一筋に励んでこられ、現在は全国各地より講師として請われ指導に当つております。先生は小学生の頃から帯結びが好きでお姉さん達が見ている婦人俱楽部の花嫁の写真を見ては、柱に座布団をあてお母さんの帯をくくりつけて何度もやつてどうにか写真のよう出来るとても嬉しかったそうです。花嫁作りをやりたいという夢を中学、高校と持ち続け卒業後その実現の為に東京の美容院に住込みで修業、食糧難時代でつらいこともあつたが、一旦志した以上は頑張らねばと思つたそうです。二十六年に美容師の資格を取得、翌年米沢に戻り美容院に住込み花嫁着付の助手、花嫁作りと精進され、三十二年結婚開業されました。先生は花嫁作りの中にもうつしやつています。四十年に「花嫁の本」創刊号が出て裏表紙の写真を見て長年求め続けた花嫁像をそこに発見されました。加藤絹枝先生に出会い、東京での講習会に一週間ずつ年二回三年間参加されました。五十二年中野サンプラザに於ける百日草千葉益子賞全国花嫁着付コンクールに参加三席の三に選

# 美

## 花嫁着付 四十年



鹿股安子さん



## 働き つづけて



S 31年卒  
布川武代

目を真赤に泣き腫らしたSさんが職場の窓越しに「駄目だ、駄目だ」と手を振り合図をしている。希望退職に最後迄認印を押さない30人近くの人が再々度と個人説得を受け、うつ向き乍ら応接室から戻つて来る。特にSさんは自営業の御主人が入院して、幼子二人を抱え途方に暮れているのです。昨夕、上司宅へ懇願に行つたのに無視されたのでした。その日、サッシ窓の外は粉雪

が舞い、軒に太く長いつらが冷たく垂れ下っていた。この地獄の様な光景はS 49年～50年にオイルショックで不景気になつた私の職場の様子です。25才以上と既婚の女性全員を対象とした希望退職に名を借りた首切りだったのです。

最後迄認印を押さない私達二名は56年2月27日解雇されました。訴訟を起し、私達が正しかった事が示され、52年5月に職場に復帰しました。

これらの体験を通して、働く人の連帯感や働き続ける事の大切さ、そして何よりも多くの働く婦人の先輩達が言葉では表せない程の苦労の積み重ねで得た数々の労働条件を受け継ぎ発展させなければならぬ事を知りました。

思い起せば、私が今の職場に入った頃、いつも止めないで働き続ける女性を「しなびた花は活け替えろ」と風刺した言葉が流行っていました。私も現実の厳しさに嫌気がして「夫を見送る新妻に早くなりたい」と現実からの逃避だけを考えていました。

もしあの時、安易に職場を止め主婦の道を選んでいたら、この怒りや喜び、哀しさ、人々の温りを知る事もなく、淡淡と私の人生は過ぎていただろう。働き続けてきたからこそ得られた貴重な体験だったと思いま

す。若い後輩のみなさん、「女子高出身は心あつたかい人が多い」とよく言われますが、やがて職に就かれたら、その職場を愛し、後輩達が安心して働き続けられる民主的な職場にして、本当のあつたかさを發揮して下さい。そして切磋琢磨し喜怒哀樂を沢山経験し、一度しかない人生を生きてて良かったと言えるものにして下さい。

が舞い、軒に太く長いつらが冷たく垂れ下っていた。

この地獄の様な光景はS 49年～50年にオイルショックで不景気になつた私の職場の様子です。25才以上と既婚の女性全員を対象とした希望退職に名を借りた首切りだったのです。

最後迄認印を押さない私達二名は56年2月27日解雇されました。訴訟を起し、私達が正しかった事が示され、52年5月に職場に復帰しました。

これらの体験を通して、働く人の連帯感や働き続ける事の大切さ、そして何よりも多くの働く婦人の先輩達が言葉では表せない程の苦労の積み重ねで得た数々の労働条件を受け継ぎ発展させなければならぬ事を知りました。

思い起せば、私が今の職場に入った頃、いつも止めないで働き続ける女性を「しなびた花は活け替えろ」と風刺した言葉が流行っていました。私も現実の厳しさに嫌気がして「夫を見送る新妻に早くなりたい」と現実からの逃避だけを考えていました。

もしあの時、安易に職場を止め主婦の道を選んでいたら、この怒りや喜び、哀しさ、人々の温りを知る事もなく、淡淡と私の人生は過ぎていただろう。働き続けてきたからこそ得られた貴重な体験だったと思いま

(行方絹代  
記)

# あの頃も、 今も、そして いつまでも

母校の米寿を祝う会に

おいで下さい。



同窓会会长 竹田カツ

同窓会の皆様如何お過しでいらっしゃいますか、今年は母校の八十八周年に当たります。

人生のふし目は米寿の祝としておりますが、同窓会と致しましても、母校の八十八周年を米寿の祝として九月十日に実施する事に致しました。多くの同窓生の方々に御参集いただきまして、青春の日に立返り、思い出話に花を咲かせ、又現在の母校の様子にも、ふれていいただき、更に未来への夢等を語るのも意義深い事と思ひます。昨年から、それぞの部門に分かれて、役員の方々が、如何にしたら、皆様に楽しみ、喜んでいただけるのかと、努力に努力を重ねていただいているところです。内容としては、式典と、沿革展と、パーティの三部門です。どうか、クラスの方々や、近所の同窓会の方々をおさそい下さいまして、お出で下さる様、お待ち致しております。

## 九里学園

### 米寿の集いを成功させよう

ご寄付ありがとうございました。

＝八十八周年行事のために＝

▲昭和二十年度本科に組

一〇、〇〇〇円

▲若林とく様御遺族から

五〇、〇〇〇円

## あとがき

昭和が終わり新しい年、平成は、一年を大切にしていきたいものです。平和を希求して名付けられたそうです。同窓会も新たに重ねる一年、一年を大切にしていきたいものです。米寿の集いに向けて準備委員会がスタートしました。どうか皆様多数御参 加下さい。

日  
場  
行

時：平成元年9月10日(日)  
所：九里学園 米沢女子高等学校  
事：受付 12:00～(総会 12:30～)  
式典 1:00～2:00  
パーティ 2:30～4:30  
(沿革展) 4:30～5:30

会費：5,000円

連絡先：同窓会本部 0238-22-0091  
(米沢女子高校)

関東支部 03-929-6971  
(古川つゆ方)

- 不明な点や参加については御連絡下さい。
- 各クラス1名の実行委員がおります。
- 同窓生で88才以上の方の御招待を考えております。該当する方を御存知でしたらお知らせ下さい。
- 沿革展の係では、資料を収集しております。ヒナ型、貴重な写真その他資料をお持ちの方はどうか御協力下さい。

